

論文 / 著書情報
Article / Book Information

論題	オンラインでの新入生オリエンテーションの試み ―コロナ禍における実施状況と今後の展望―
著者	野崎雅子, 伊東幸子
出典	初年次教育学会第 13 回大会（誌上開催）発表要旨集, pp. 16-17
発行日	2020, 9

オンラインでの新入生オリエンテーションの試み

—コロナ禍における実施状況と今後の展望—

○野崎雅子（東京工業大学）・伊東幸子（東京工業大学）

1. はじめに

2020 年度、東京工業大学では、コロナ禍によって新入生が大学に来ることがないまま 5 月 4 日より Zoom を用いて授業を開始することが決定された。通常開催されてきた多数のオリエンテーションやガイダンスが中止になる中で、初の試みとして教職連携で実施された学士課程新入生オンラインオリエンテーションおよび、そのアンケート結果を通じて、学士課程新入生オンラインオリエンテーションには何が求められているのか、今後実施する際の課題は何かを、本稿では探索する。

2. 本年の実施状況

東京工業大学の学士課程新入生オリエンテーションは、5 月 4 日からの授業開始に先立って、4 月 23 日、24 日、27 日に Zoom を用いて実施された。6 学院（学部）の新入生（1147 名）を 18 クラスに分け、あらかじめ参加クラスを新入生に通知した上で実施された。学院によってクラスサイズは異なるものの、1 クラスの新入生の人数はおおむね 50 名程度で構成された。前半では主に、Zoom の操作説明、学長メッセージ、学生支援に携わる教員からの支援体制紹介、教務課による教務関係ガイダンスが実施された。後半では各学院の教員を中心に、学院オリエンテーションが実施された。参加対象者は、学士課程新入生（一部留学生を除く）1147 名および、編入生 35 名の合計 1179 名であり、そのうち 1118 名（98.5%）が学士課程新入生オリエンテーションに参加した。

3. アンケート実施

学士課程新入生オリエンテーションに関す

るアンケートは、オリエンテーション実施から約 1 か月後の 5 月 25 日より 5 月 31 日までの期間、大学の学生向け教務ウェブシステムを通じて実施された。対象者は、新入生 1147 名、編入生 35 名の合計 1179 名であり、そのうち 21.7% の 256 名から回答を得られた。

2018 年、2019 年のデータは、学修コンシェルジュによる新入生ガイダンス（例年であれば、数日にわたって実施される一連のオリエンテーションの 1 つ）終了時に会場で新入生が記入したアンケートの結果であり、例年は新入生の約 8 割が出席、回答している。また、2020 年度は第 1 クォーター中間地点、2018 年、2019 年は、入学後第 1～2 週時点と、アンケートの実施時期は例年と異なっている。

アンケートの内容は、新入生オリエンテーションに関する項目と、Zoom 授業の受講状況に関する項目から構成される。それぞれ選択項目と自由記述項目からなり、本稿では選択項目を分析対象として扱う。新入生オリエンテーションに関する選択項目は 10 項目であり、5: とてもあてはまる、4: あてはまる、3: どちらともいえない、2: ややあてはまらない、1: あてはまらない、の 5 段階で回答を得た。Zoom 授業の受講状況に関する項目は 5 項目からなり、複数選択可の選択肢から当てはまるものを選ぶ形で回答を得た。

学士課程新入生オリエンテーションに関するアンケートは、入学時の学生のエンゲージメントを測定する尺度（Krause and Coates (2008)）をもとに作成しており、2018 年、2019 年にも新入生オリエンテーション後に実施した。ただし、本年はコロナ対応に伴

い、新入生オリエンテーションに関する項目においても、一部設問の追加や表現の変更を行った。

5. 考察

1. 新入生オリエンテーションに参加し、自分が東工大での学びのイメージを高めることができた。	2. 新入生オリエンテーションに参加し、自分が東工大での学びのイメージを高めることができた。	3. 新入生オリエンテーションに参加し、自分が東工大での学びのイメージを高めることができた。	4. 新入生オリエンテーションに参加し、自分が東工大での学びのイメージを高めることができた。	5. 新入生オリエンテーションに参加し、自分が東工大での学びのイメージを高めることができた。	6. 新入生オリエンテーションに参加し、自分が東工大での学びのイメージを高めることができた。	7. 東工大の学生に会えてうれしい。	8. 東工大の学生に会えてうれしい。	9. 東工大の学生に会えてうれしい。	10. 東工大の学生に会えてうれしい。
2018年	3.75	3.98	-	-	-	4.30	3.76	3.84	3.95
2019年	3.89	4.09	-	-	-	4.18	4.38	3.86	3.89
2020年	3.66	3.63	3.09	4.08	3.75	3.79	4.52	3.44	3.91

表 1. 新入生オリエンテーションについてのアンケート結果

「4. 新入生オリエンテーションで Zoom を使った経験は、授業で Zoom を使う練習になった」への回答は、平均 4.08 と高く、2020 年のオリエンテーションは、特に、その後続く Zoom でのオンライン授業受講の準備という点で意味があったと考えられる。

ただし、2018 年、2019 年と比べると、オリエンテーションの効果についての学生の認知は全般的に低く、その原因は以下 4 点が考えられる。①オリエンテーション全体の量（内容及び時間）が少ない。2018 年、2019 年は入学式を含めて入学後 1、2 週間の間に学内各所で全体で 3 日程度はオリエンテーションが行われた(学士課程総合オリエンテーション、学院セミナー、学院オリエンテーション、学修コンシェルジュガイダンスなど)。2020 年は全体で 2 時間弱だった。②2020 年はオリエンテーションに先輩学生が参加できなかった。③対面とオンラインの違い。④アンケート実施時期の違い（オリエンテーションから 1 か月たってから聞かれても忘れてしまっている。）。

「7. 東工大の学生になれてうれしい」「9. 東工大で自分が選択できる科目や東工大での学びに満足している」への回答は、2020 年が一番学生の評価が高い。これは、第 1Q 中間地点での回答ということを見ると、東工大で履修している授業（オンライン授業）への満足度が高い結果と推測される。

Zoomで授業を受講している。インターネットが接続上の問題が発生する可能性があるか(A)	Zoomで授業を受講する上での考え(2020年4月15日～16日)	現在の自宅環境を載せてください(A)	Zoomで授業を受けたい(A)	自宅以外で受講したい人は、なぜその環境で受けているのかを載せてください。自宅でも受けている人は自宅環境を載せてください(A)
2/10	5	2/10	12	12
接続に不安	7	接続に不安	41	41
不安	101	不安	89	89
不安	100	不安	77	77
不安	41	不安	41	41
不安	254	不安	254	254

表 2. Zoom による受講についてのアンケート結果

新入生オリエンテーション実施時における、学士課程新入生の Zoom による受講の状況はおおむね良好であった。アンケート実施時の居住状況に関する設問においては、「家族や親せきと同居」が回答数の約 75.4%を占めており、新入生がある程度インターネット環境が整った状態で Zoom による受講をすることができていると考えられる。Zoom 授業についての評価に関する項目では、「よくない」「あまりよくない」が回答全体の約 20%を占めており、少なくない割合の新入生が Zoom 受講に対してネガティブな印象を持っていることがわかる。インターネット接続上の問題のあるなしと、Zoom 受講についての評価のデータの間に統計上の相関関係は認められず、インターネット接続状況とは別の要因が Zoom 受講についての評価に影響を与えていると考えられる。

5. 今後の課題

2020 年度に Zoom を用いて実施した学士課程新入生オリエンテーションは、いくつかの項目で満足度も高く、その後の Zoom 受講の練習としても有益であった。また、これまでの新入生オリエンテーションに比べて参加率が格段に高まり、新型コロナウイルス感染終息後も有用性があると考えられる。しかし、2021 年のオリエンテーションに関しては、2020 年オンライン開催の良さは生かしつつ、全体の量（内容及び時間、期間）、先輩学生の参画などは元のやり方に戻す検討が必要になるだろう。